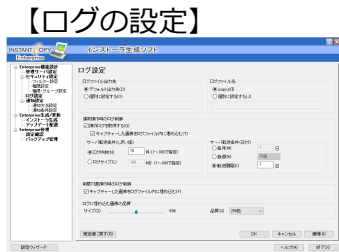


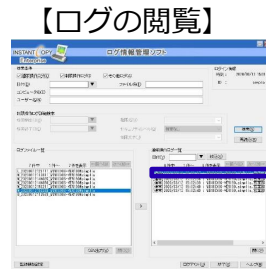
Tips セキュリティ機能のログ設定方法と確認方法についてご紹介します。

ログの概要

管理者は「ログ情報管理ソフト」を利用して、利用者端末の画面キャプチャーの利用状況を監視できます。ログファイルにキャプチャーした画像を埋め込むことができるため、いつ、誰が、どのような画面をキャプチャーしたかを確認できます。



ログ設定の手順はP.3へ



ログ閲覧の手順はP.6へ

ログ詳細画面



収集されるログについて

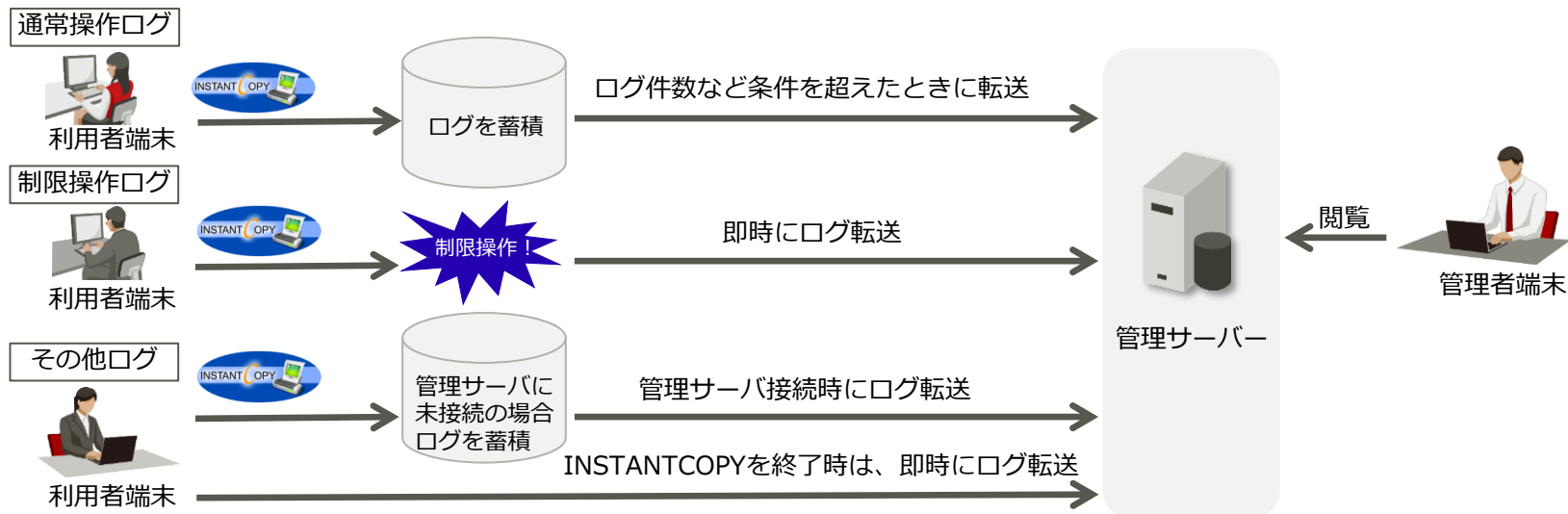
- ・利用者端末の画面キャプチャーの操作ログは管理サーバーに転送され、管理者端末（ログ情報管理ソフト）で一括管理できます。

- ・操作ログは、下記の3種類あります。

通常操作ログ：通常の画面キャプチャー操作時に採取するログ

制限操作ログ：フィルター設定に該当した画面キャプチャー操作時に採取するログ

その他ログ：管理サーバーに接続されていない状態での画面キャプチャー操作時やINSTANTCOPYの終了時に採取するログ

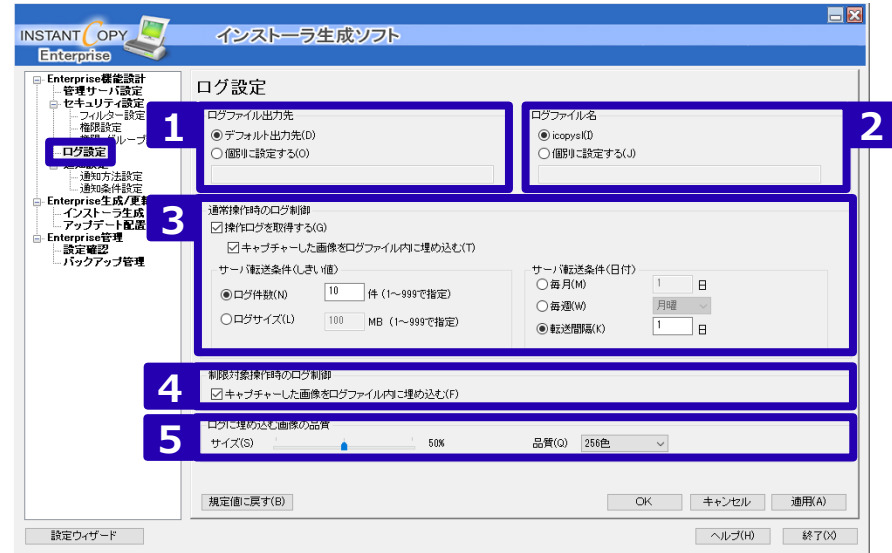


ログの設定手順

(1) デスクトップ左下のスタートメニューから、インストーラ生成ソフトを開きます。



(2) 「Enterprise機能設計-ログ設定」を選択します。ログ設定画面が開きます。設定後、「OK」をクリックします。



詳細説明は次ページ参照

1 ログファイル出力先

管理サーバに転送する前のログを、一時的に保存するためのログファイル出力先を設定します。

デフォルト保存先	ログファイル出力先「%AppData%\ICOPY\ISec」配下に設定します。
個別に設定する	ログファイル出力先を下部のテキストボックスに任意に設定します。 書き込み権限のある保存先を設定する必要があります。 (注) 複数ユーザーが1台の端末を使用する環境では設定できません。

2 ログファイル名

管理サーバに転送する前のログを、一時的に保存するためのログファイル名を設定します。

icopysl	ログファイル名を「icopysl」に設定します。
個別に設定する	任意のログファイル名を設定します。

3 通常操作時のログ制御

通常操作時のログ制御を設定します。

操作ログを取得する	チェックすると、通常操作時にログファイルが出力されます。
キャプチャーした画像をログファイル内に埋め込む	チェックすると、通常操作時に出力されるログファイルにキャプチャーした画像を埋め込みます。

● 「サーバ転送条件(しきい値)」

通常操作時のログファイルを管理サーバに転送する条件を「ログ件数」または「ログサイズ」から指定します。ここで設定した設定値を超過した際、ログが管理サーバへ転送されます。

またログファイルサイズの目安は以下のとおりです。

◎キャプチャーした画像をログファイル内に埋め込む場合

- ・モニターの解像度：1024×768
- ・品質：24bit
- ・ログ件数(しきい値)：100件の場合
= 通常ログファイルのサイズは約40Mバイトになります。
- ・ログサイズ(しきい値)：100Mバイトの場合
= 約250件の通常ログが取得可能です。

◎キャプチャーした画像をログファイル内に埋め込まない場合

- ・ログ件数(しきい値)：100件の場合
= 通常ログファイルサイズは約10Mバイトになります。
- ・ログサイズ(しきい値)：100Mバイトの場合
= 非常に多い件数の通常ログが取得されることが想定されます。
しきい値を「ログ件数」に設定することを推奨します。
※ 設定したサーバ転送条件(しきい値)に達する前にサーバ転送条件(日付)を満たした場合、蓄積されたログは転送され、ログ件数やログサイズはリセットされます。

● サーバ転送条件(日付)

通常操作時のログファイルを管理サーバに転送する条件を「毎月」、「毎週」、「転送間隔」の中から選択します。

※ 転送条件「毎月」にて「31日」等の月末を指定した場合、31日が存在しない月の転送はその月の月末となります。

(例)6月31日→6月30日 2月31日→2月28(29)日

※ サーバへのログ転送条件に該当する日付にINSTANTCOPY Enterprise が起動されなかった場合、以降に起動された日付に転送を行います。

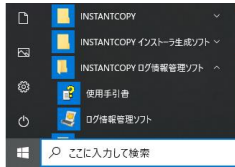
- 4** 制限対象操作時のログ制御
チェックすると、フィルター対象操作時に出力されるログファイルに画面キャプチャーの画像を埋め込みます。

- 5** ログに埋め込む画像の品質
ログファイルに埋め込む画像の品質を設定します。

サイズ	<p>スライダーを移動して「原寸」、「10～90%）」、「最小」の中からサイズを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・原寸 取得した画像そのままのサイズ。スライダーを一番右に移動すると、この設定になります。・10%～90% 取得した画像の縦横サイズを、アスペクト比を維持して10～90%に縮小したサイズ。10%単位で設定できます。縮小後のサイズが300Pixelを下回る場合、最小と同様のサイズになります。・最小 縦横の最大サイズを300Pixelとし、アスペクト比を維持して縮小したサイズ。スライダーを一番左に移動すると、この設定になります。
画像の品質	<p>「自動選択」(注)、「24bit」、「256色」、「16色」、「モノクロ」の中から選択します。 注) INSTANTCOPY Enterprise で取得した画面キャプチャーの画像品質に自動設定されます。</p>

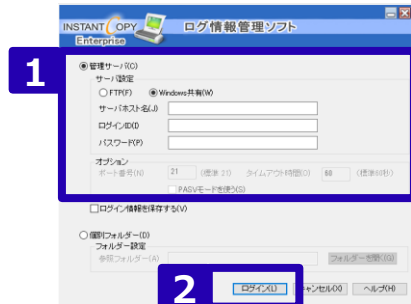
ログの閲覧手順

(1) デスクトップ左下のスタートメニューから、ログ情報管理ソフトを開きます。

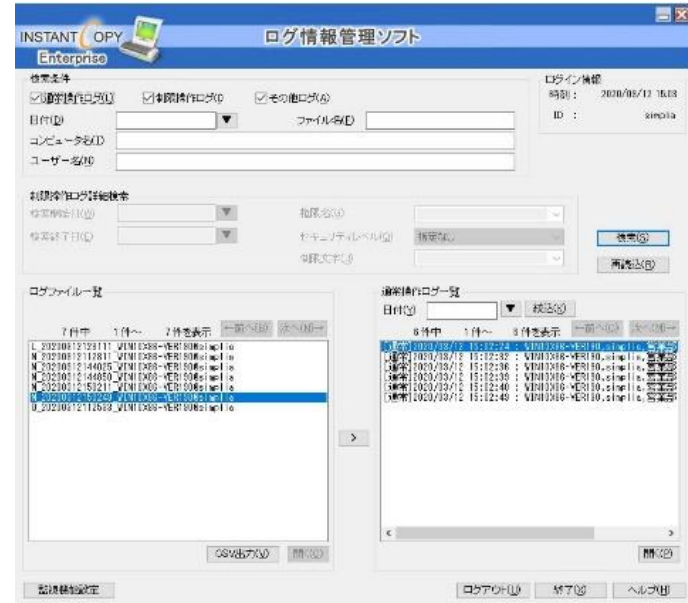


(2) ログ情報管理ソフトのログイン画面が開きます。

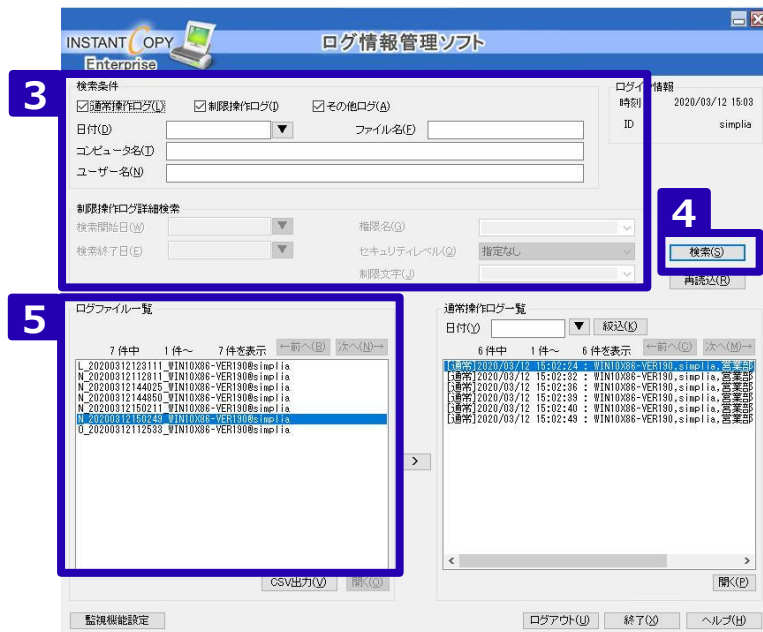
- 1 「管理サーバ」を選択した状態で、初期設定時に「管理サーバ設定」で設定した内容を入力し
- 2 「ログイン」をクリックします。



(3) ログ情報管理画面が開きます。



- (4) **3** 任意のログファイル検索条件を入力し、**4**「検索」を実行します。
(検索条件：日付、コンピューター名、ユーザー名、フィルターなど)
- 5**「ログファイル一覧」に、検索条件に該当した通常操作ログファイル名、制限操作ログファイル名、その他ログファイル名が表示されます。



(5)ログ詳細画面でログファイルの内容を確認します。

・通常ログファイルの場合

- 6 「N_XXX」を選択し「>」ボタンをクリック、または「N_XXX」をダブルクリックすることにより、
- 7 通常操作ログ一覧に展開します。
- 展開した一覧から参照する
- 8 通常操作ログを選択し、
- 9 「開く」ボタンをクリック、または参照するログをダブルクリックします。

The screenshot illustrates the steps to view log details:

- Step 6:** In the 'ログファイル一覧' (Log File List) window, a log entry starting with 'N_20200312123111' is selected.
- Step 7:** The '>' button is clicked, which opens the '通常操作ログ一覧' (Normal Operation Log List) window.
- Step 8:** In the '通常操作ログ一覧' window, a specific log entry is selected.
- Step 9:** The '開く(O)' (Open) button is clicked, which opens the 'ログ情報管理ソフト ログ詳細' (Log Management Software Log Detail) window.

The 'ログ情報管理ソフト ログ詳細' window displays the following information:

- ログ詳細 (Log Detail):**
 - ログ種別: 通常操作ログ
 - 日時: 2020/03/12 15:02:24
 - コンピュータ名: 1931123111
 - ユーザー名: 富士通一郎
 - WAPアドレス: 99.99.99.99
 - IPv4アドレス: 99.99.99.99
 - IPv6アドレス:
- 権限情報 (Permission Information):**
 - 権限名: アドティブウィンドウ
 - 出力先: クリップボード(画像)
 - 添付画像: あり
- 画像プレビュー (Image Preview):**
 - 購入伝票 (Purchase Invoice) table:

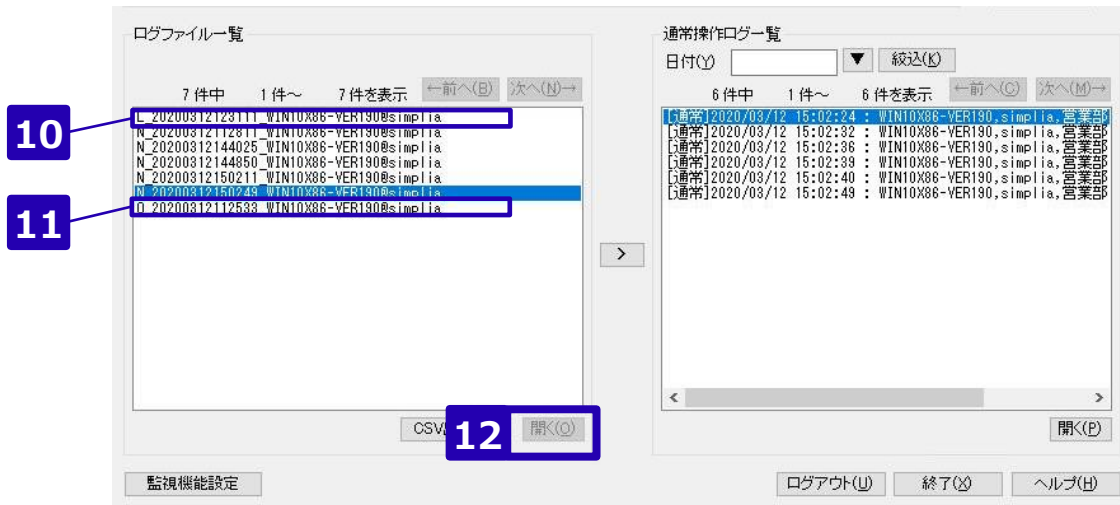
商品コード	商品名	数量	金額
00143300	NETWARE Enterprise 9R オペイション	1	10,000円
00149007	NETWARE Enterprise 9R 管理権限	1	100,000円
00149008	NETWARE Enterprise 9R 初期設定	1	50,000円
00149009	NETWARE Enterprise 9R 初期設定	1	1,000,000円
00149007	NETWARE Enterprise 9R 初期設定	1	1,000,000円
合計			1,150,000円

- ・制限操作ログファイルの場合

10 「L_XXX」 を選択し、**12** 「開く」 ボタンをクリック、または「L_XXX」 をダブルクリックします。

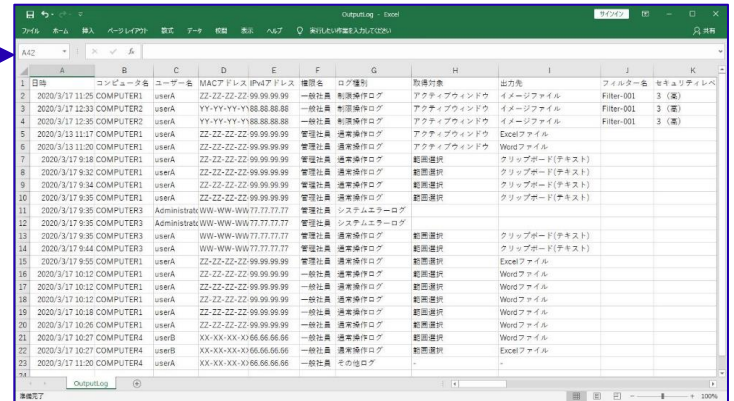
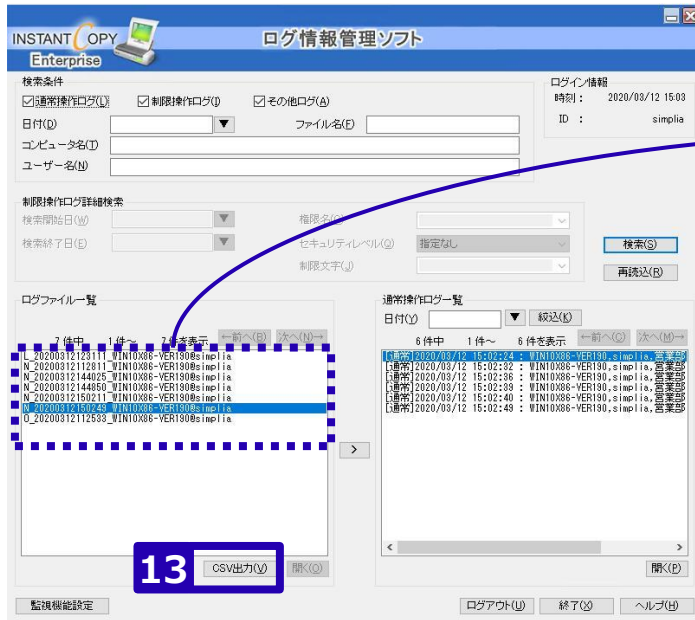
- ・その他ログの場合

11 「O_XXX」 を選択し、**12** 「開く」 ボタンをクリック、または「O_XXX」 をダブルクリックします。



セキュリティ機能のログを確認してみよう (10/14)

- (6)ログファイル一覧に表示されるログファイルの詳細情報は、CSVファイルに出力することもできます。
13 「CSV出力」をクリックし、CSVファイルを任意の場所に保存します。

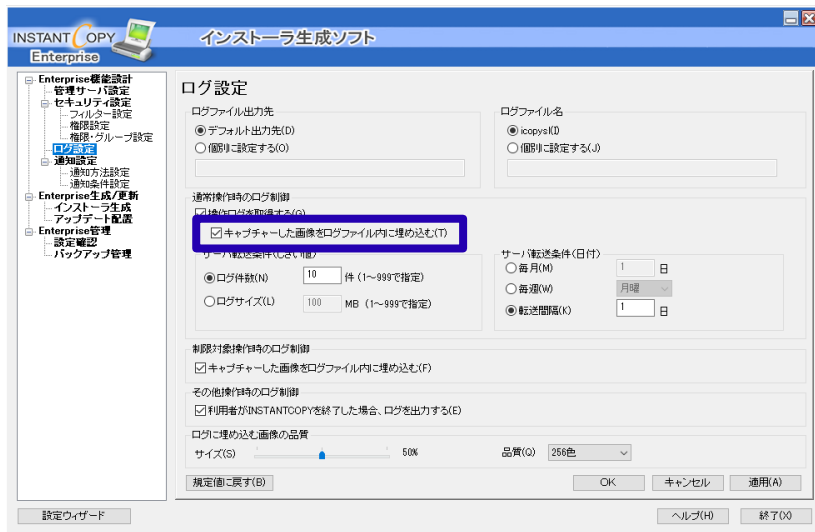


ログの設定例 1

すべての画面キャプチャー画像をログに保存する場合

監査対応ですべての画面キャプチャーのログを残す必要があったため、**通常操作ログ・制限操作ログともに、キャプチャーした画像をログファイル内に埋め込む**設定にした。

凡例) ●ラジオボタン ■チェックボックス

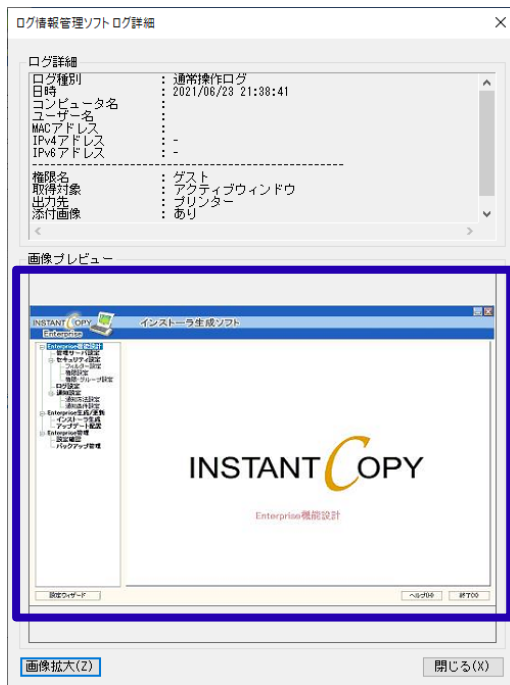


ログファイル出力先	●デフォルト出力先
ログファイル名	●icopysl
通常操作時のログ制御	■操作ログを取得する ■キャプチャーした画像をログファイル内に埋め込む
サーバ転送条件 (しきい値)	●ログ件数 10件
サーバ転送条件 (日付)	●転送間隔 1日
制限対象操作時のログ制御	■キャプチャーした画像をログファイル内に埋め込む
その他操作時のログ制御	■利用者がINSTANTCOPYを終了した場合、ログを出力する
ログに埋め込む画像の品質	サイズ 50% 品質 256色

※「セキュリティ設定」や「ログ設定」の設定変更を利用端末に反映するには、インストーラー生成して利用端末に配布するか、アップデート配置する必要があります。インストーラー生成手順については、使いこなしの秘訣の「セキュリティ機能を使ってみよう」を参照してください。

設定例 1 のログ出力例

通常操作の場合、ログに画像が埋め込まれます。



制限操作の場合、ログに画像が埋め込まれます。

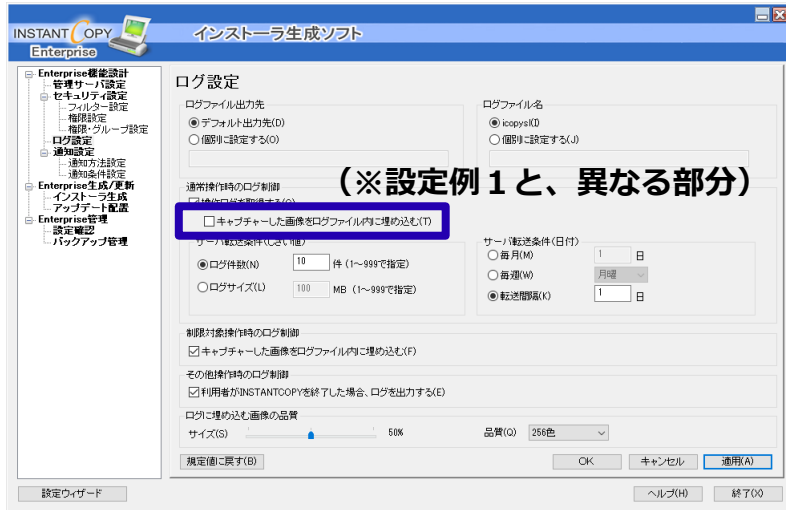


ログの設定例 2

制限操作時のみ画面キャプチャー画像をログに保存する場合

制限操作時のログを残して詳細を後で確認したかったため、**制限操作ログにはキャプチャーした画像埋め込むが、通常操作ログは埋め込まない**設定にした。これにより、ログ容量を抑えることができた。

凡例) ●ラジオボタン ■チェックボックス □チェックボックス



ログファイル出力先	●デフォルト出力先
ログファイル名	●icopysl
通常操作時のログ制御	■操作ログを取得する □キャプチャーした画像をログファイル内に埋め込む
サーバ転送条件(しきい値)	●ログ件数 10件
サーバ転送条件(日付)	●転送間隔 1日
制限対象操作時のログ制御	■キャプチャーした画像をログファイル内に埋め込む
その他操作時のログ制御	■利用者がINSTANTCOPYを終了した場合、ログを出力する
ログに埋め込む画像の品質	サイズ 50% 品質 256色

※「セキュリティ設定」や「ログ設定」の設定変更を利用端末に反映するには、インストーラ生成して利用端末に配布するか、アップデート配置する必要があります。インストーラ生成手順については、使いこなしの秘訣の「セキュリティ機能を使ってみよう」を参照してください。

設定例 2 のログ出力例

通常操作の場合、ログに画像が埋め込まれません。



制限操作の場合、ログに画像が埋め込まれます。

